

令和5年度 美祢市高齢者保健福祉推進会議 会議要旨

日 時：令和5年6月22日（木）14:00から15:00まで

場 所：美祢市民会館 大会議室

出席委員：札幌委員、高橋委員、來島委員、川越委員、山田委員、林委員、開地委員、柴崎委員、西村委員、河内委員、椎木委員、友永委員、山田委員、村中委員、岡嶋委員 計 15名

欠席委員：竹尾委員、櫛崎委員 計 2名

事務局：市民福祉部長 井上、市民福祉部次長 佐々木、市民課長 沓野、美祢市地域包括支援センター主査 山上、美祢東地域包括支援センター所長 鶴井、介護保険班長 服部、高齢福祉班長 坂田、高齢福祉班主査 長柄、委託先事業者 ジャパンインターナショナル総合研究所員 計 9名

次 第

1 開会

2 市民福祉部長あいさつ

3 協議事項

(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 美祢市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について

① 高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画【骨子案】

② 調査結果報告

③ 現計画の施策における評価

④ 第9期介護保険事業計画基本方針と策定スケジュール

(3) その他

4 閉会

【事務局説明】

協議事項

(1) 会長及び副会長の選出について

会長に札幌委員、副会長に高橋委員が選出される。

(2) 美祢市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について

①から④までの協議事項について事務局から説明を行う。

【意見・質問】

○委員 介護給付の適正化ということで、いろいろ適正化をしないといけないことは分かるが、この中のケアプラン点検、住宅改修等の点検がある。これをしてはならないのは理解しているが、ケアマネジャーが不足している中で、このケアプランの点検の厳しさゆえにケアマネジャーを辞めてしまうという現実があることを聞いている。プランの点検が必要なのは分かるが、点検の仕方を見直していただきたいという意見が出ている。住民の方々に適切な介護給付をしないといけないというのは分かるが、サービスを絞るという意味での適正化ではないと理解しているので、その辺りを少し検討いただきたい。

もう一つ、住宅改修について家族が利用者本人に必要と思いき、またケアマネジャーも必要だと感じて提出した書類が却下された場合、非常に困るという話が出ている。本当に必要ないのかということ、現場に行ってみられているのか。利用者に納得のいく説明を市からしてほしい。

⇒事務局 1点目のケアプラン点検については、介護給付費の適正化という部分とケアマネジャーに気づいていただきたい部分、気づきを促すという意味で行っている。毎年基準としてケアプラン点検の方針を定め、それに基づき行っている。どのあたりの指摘がケアマネジャーの負担になっているかは精査してみないと分からないが、実際にそういった御意見が多いということであっても、制度としては補助金にも関わってくる項目である。点検する側としても点検方法について研修を受講し実施しており、その点は御理解いただきたい。

2点目の住宅改修における点検についても、保険料をいただきながら介護保険制度の中で行っているため、基準があるものになる。利用者やケアマネジャーが必要と思っても、介護保険班とのやりとりの中で必要ないという結果になったものが実際にあるということの認識がなかったため、そこは確認していく。

実際には、担当者とケアマネジャーとのやりとりが多いと思うが、利用者やケアマネジャー間で理解が難しいということであれば、市から利用者及び家族に説明はできると思うので相談してほしい。

○委員 ケアマネジャーのことで論議されているが、ケアマネジャーがケアマネジャー離れをしている現象が全国的にある。美祢市は言うまでもなく少子少老化真ただ中にある。いろいろな話は出ているが、ケアマネジャーが定着

できるような市としての御指導というか、幅広い考え方を持っていただきたい。県や国に対しても意見を伝えてほしい。私のところでもケアマネジャーを探している現状がある。

次に、資料6の(1)介護サービス基盤の計画的な整備について(2)、(3)と続いているが、これは基本的に必要なことだと思うが、各施設、事業所ともにほとんど定員割れしている。そして待機者が見つからないという現象が目の前にある。それを含め計画的な整備の検討をしていただきたい。そこへ目線を当てていただきたいと思う。

⇒事務局 今の御質問というか御要望に対しては、第9期介護保険事業計画に関わってくるものではないかと感じている。次期3年間のサービス基盤を、施設を含めて計画を立て、他にもサービス見込量、被保険者の数などそういったものを推計し併せて決めていく形になるかと思う。

この会議をあと3回予定させていただくが、その中で数字や計画案を示させていただくので、市内の今のサービス資源というものを大事にしながら御意見を伺い進めていきたいと思う。

○委員 今のことについてもう一つ質問がある。この計画の3年間の施設の見込みでキャパとしての需要や供給の数字はしっかり感じていると思うが、私どもが感じている一つは、担い手の問題である。専門性を持った担い手である看護師、介護福祉士、ケアマネジャーなどその辺りの数字はなかなか出てこない。出しようがないのかもしれないが、この辺りのことをどのように捉えるかということを検討していただければと思う。

⇒事務局 はっきりとしたお答えはできないが、介護保険班で事業者の方にアンケートをとらせていただいたところ、人材確保ということが大変課題だという答えをいただいた。本市のみでなく、全国的に介護人材は不足している又は確保が難しい現状であることは認識している。市でも補助金など少しでも資格が取りやすいような環境につながれば、ということで取組はしているところだが、実際に人材確保につながっているかというとはっきり言えないところである。今からどのようにその対策をしていけるか考えていかなければならない。この程度の答えで大変申し訳ないが、これでお答えとさせていただきたい。

○委員 資料5の部分に外国人雇用促進対策と掲載しており、外国人実習生の受け入れ及び雇用に対する環境支援に向けた仕組みの検討とあるが、私ども法人にもベトナム人留学生10人、特定技能実習生、モンゴルの特定技能実習生を雇用している。さらに次のこと、来年のことも考えている。今、この近辺で職員を確保するのに非常に苦慮している。

この中で環境支援に向けた取組とあるが、どういったものなのか御指導いただきたい。

⇒事務局 それについては、所管が商工労働課ということで、今現在事務局側から出席している職員は市民福祉部のメンバーであり、詳しいその内容についてすぐにお答えできない。しかし、確認すればお答えできる内容なので、次回、会議の時又はそれ以前に各委員にお伝えできる機会があればお答えさせていただくことで御了承いただきたい。

○委員 資料の5の老人クラブの活性化について、老人クラブが年々減少している。増えるどころか全国的にも半分近く減っている。この理由はコロナなど等々ある。愛する地域でお互いが助け合い、私はこの地域に感謝でいっぱいである。見守り隊も立ち上げて毎日、勉強させていただいている。

老人クラブの方々も汗を流していらっしゃるということは御報告させていただきたい。24時間は人間に公平であり、知恵は無限である。その無限をお互いが助け合って、次の世代につなげていく。こういう福祉の会議に参画させていただき皆さんの声を聞くことがとても嬉しい。今後とも御指導よろしく願います。

事務局 あいさつ